

(教育長答弁)

長崎議員 1001

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 コロナ禍における児童生徒への影響についての見解とその実態をどのように把握しているのか。

答弁要旨

コロナ禍における児童生徒や高校生への影響については分析しておりませんが、全国学力・学習状況調査の「テレビやスマホ等でゲームをしている時間」についての質問に、1日当たり4時間以上ゲームをしていると答えた児童生徒の割合は、コロナ前の平成29年度と令和4年度を比べると、小学生で約13%から約23%に、中学生では約16%から約21%に増加しております。

この結果から、肥満や視力低下等の健康への影響を懸念しているところであり、こうした懸念については、毎年、兵庫県立大の竹内教授の協力のもと行っている情報モラル授業や小中高校生をはじめ、保護者も参加したスマホサミット等でネット依存の危険性の注意喚起やスマホ使用についての意見交換を行い、ルールづくりなどを行っております。

(次ページへ続く)

また、児童生徒はコロナ禍の中で、ICTの活用推進による協働の学習は進んだものの、自然学校やトライやるウィークなどが十分にできていない状況の中で、実際に見て、聞いて、感じて、やってみて、失敗してもまたやってみて、成功したら友達と喜び合い、達成感を分かちあう、そうした体験学習が不足していると感じております。今後は、子どもたちが友だち等と協働による体験学習を積み重ねていくことが重要であると考えております。

以 上

質問要旨 万博後も「尼崎運河クルーズツアー」を人を
呼び込むコンテンツとして、活用すべきでは。

答弁要旨

兵庫県で展開される「兵庫フィールドパビリオン」につきましては、兵庫ならではの SDGsの取組を「見て、学び、体験」していただくものとして、万博期間中の来訪者の受け入れに加え、万博後のレガシーへと導くことも視野に入れた事業でございます。

その一つとして選定されました「尼崎運河クルーズツアー」につきましては、運河クルーズだけでなく、魚釣り体験に加え、釣った魚をバーベキューでいただけるという、魅力が詰まった観光プログラムとなっております。

当ツアーにつきましては、これまでから、あまがさき観光局が事業者と連携し、進めてきていますが、尼崎のあまり知られていない魅力をアピールできる新たな観光資源として、万博終了後も、継続実施できるよう、引き続き、あまがさき観光局におきまして、伴走支援を行ってまいりたいと考えております。

以上

質問要旨 尼崎 21 世紀の森構想の実現に向けた具体的な整備計画と今後の見通しについて。

答弁要旨

尼崎 21 世紀の森構想は、臨海地域 1000 ha を対象とし、「尼崎の森中央緑地」を拠点地区として位置づけ、先導的に整備することにより、その効果を構想地域全体に波及させていく段階的な手法で進めて^らいます。

その「尼崎の森中央緑地」は、現在尼崎スポーツの森がある第 1 工区、パークセンターや大芝生広場がある第 2 工区までを供用開始しています。残る海側の第 3 工区は、令和 8 年度に整備完了予定となっており、民間活力を生かした「にぎわいの創出」を図るべく、昨年度にはサウンディング型市場調査を実施したところです。

(次ページへ続く)

今後においても、臨海地域のまちづくりテーマとして掲げる「森と水と人が共生する環境創造のまち」を基本として、拠点地区を中心とした基盤整備の実施や、産業の活性化のためフェニックス事業用地の活用の検討を行うとともに、地元企業や住民、行政との協働により、森構想の実現に向けた機運醸成を図っていきたいと考えております。

以上

質問要旨 「マイ避難カード」に関する市民の認知度について、どう認識しているか。

答弁要旨

「マイ避難カード」の市民の認知度につきましては、令和3年度より施策評価において、施策の取組についての経年変化を確認する指標となる目標指標に定め、進捗状況を確認しているところです。

令和3年度の市民意識調査では、「マイ避難カードを作成している」と答えた市民の割合は1%という結果であり、現時点においては、まだまだ認知度は低いと認識しております。

以上

(増田教育次長答弁)

長崎議員 2001 作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 低年齢化がすすむネット依存・ゲーム障害の現状について、保護者に理解や対策について考える機会をもたせることが重要だと考えるが、いかがか。

答弁要旨

ネット依存やゲーム障害について、各学校においては学校だより等で、全国学力・学習状況調査における「テレビやスマホ等でゲームをしている時間」に関する質問を取り上げたり、児童生徒対象の情報モラル等ネット利用に関する講演会に保護者にも参加を呼びかけたりする等、保護者への啓発に取り組んでおります。

先ほど教育長が答弁いたしましたように、令和4年度には、兵庫県立大学竹内教授に指導していただいているスマホサミットに、本市のPTA 連合会に参加していただくなど、保護者と子どもがともにインターネット等の利用について考える機会を設けております。

(次ページへ続く)

今後も、学校や PTA と連携して、子どもと保護者が一
緒に、インターネット等の 利用に関する ルールづくりをす
る取組等を通して、ネット依存やゲーム障害の防止に努
めてまいります。

以 上

質問要旨 ホームページ等にチェックリストを掲載することが早期発見の第一歩と考えるがどうか。

答弁要旨

依存症につきましては、進行性の病気とされており、早期に治療・支援につながる事が重要とされています。

特にネット・ゲーム依存については「やり過ぎ」と「依存」の境目がわかりにくいという問題も指摘されており、本市といたしましては、ネット・ゲーム依存も含め、あらゆる依存症を対象として、発症予防や早期の相談・治療につながるよう、啓発活動や専門医による「依存症相談」などを実施しております。

議員ご提案のチェックリストにつきましても、早期に自らが気づき、相談や治療につながるきっかけの一つとして、実施できるよう検討してまいります。

以上

質問要旨 「工場夜景クルーズ」の実施を市が中心とな
って検討しては。

答弁要旨

本市には、ものづくり企業の集積など、様々な魅力を持つ地域資源が存在しており、近年ではこれに加え、工場地帯の運河クルーズや工場夜景の撮影といった既存の地域資源から派生したコンテンツが生まれています。

そうした中、工場夜景につきましては、昨年度、市内在住のプロカメラマンが、撮影のポイントや工場夜景の魅力等をお話しするトークイベント及びバスガイドツアーを実施し、参加者から好評を得るとともに、NPO法人尼崎21世紀の森等による、遊覧船で運河から工場夜景を楽しむことができるイベントなども行われています。

本市の魅力ある観光資源を活用した「工場夜景クルーズ」につきましては、あまがさき観光局等と連携する中、検討してまいります。

以 上

長崎議員 2004

作成部局 教育委員会 No.1

質問要旨 環境学習に「尼崎運河クルーズツアー」を追加することはできないか。また、尼崎で釣れた魚を美味しく食べたり、話を聞くことで食育にもつながるがいかかか。

答弁要旨

尼崎運河は、水質浄化などの環境改善について学ぶことができる貴重な学習の場であるため、3年生の環境体験学習で訪れている学校もございます。また、議員ご提案の「尼崎運河クルーズツアー」についても、以前、取り入れていた学校もございました。

議員ご提案の、尼崎で釣れた魚を食べることにつきましては、食物アレルギーの対応や活動時間等の関係もあり、校外学習での実施は難しいと考えておりますが、尼崎運河クルーズツアーも含め、臨海地域での学びの場について、周知してまいります。

以上

長崎議員 2005 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 尼崎 21 世紀の森に対する期待や要望について

答弁要旨

尼崎 21 世紀の森については、私が教育長の頃より、自分自身の子育てにおいて、大変お世話になっており、スポーツ施設も含めて大変素晴らしい環境だと思っています。

また、市民の方々からも尼崎市には賑わい施設が少ないという要望も^{直接}いただいている中で、尼崎 21 世紀の森の今後の発展に向けては、尼崎市としても積極的に関与していきたいと思っています。

このため、現在、造成が進んでいる「尼崎の森中央緑地」の第三工区のうち、海に面した先端部分であるいわゆる「海辺の芝生広場」として想定されている区域について、昨年12月に民間活力を活かして「にぎわいの創出」を図るため、兵庫県がサウンディング調査を実施した際には、そのヒアリングに本市も参加させてもらいたい旨、直接、齋藤知事にもお願いをさせていただくなどしてきました。

(次ページへ続く)

尼崎の森中央緑地だけでなく、フェニックス事業用地も含めて、これら用地は、本市の最後のフロンティアで

ございまして、これらの土地をどうやって活用していくかは尼崎にとって大変重要なことであると考えています。

憩いや賑わいが生まれ、また、市民に愛されるエリアとなるよう、私自身も責任を持って、兵庫県とコミュニケーションを図るようにはしてまいります。

以上

質問要旨 尼崎 21 世紀の森について県政要望などを積極的に要望すべきと考えるがどうか。

答弁要旨

「尼崎 21 世紀の森構想」の推進に関しては、兵庫県と尼崎市で定めた協定に基づいた役割分担のもとで、共同事業として進めているものです。

その中で、兵庫県は各種イベント等の開催や集客施設等の整備を、尼崎市は、「尼崎 21 世紀の森づくり協議会」の運営支援を主な事業として行っているものです。

このように、明確な役割分担のもとで推進している事業であることから、県政要望までは考えておりませんが、現在改訂作業が進められている港湾計画の早期改定や、南北道路の渋滞解消などについては、兵庫県に対し、働きかけを行ってまいります。

以上

質問要旨 IR事業の展開と尼崎 21 世紀の森の関連で
どのような影響と可能性があると考えているか。

答弁要旨

IR施設は、統合型リゾートであり、大型の国際会議場やホテル、劇場やカジノなどのエンターテイメント施設により集客を行う施設です。

一方、「尼崎 21 世紀の森」は、その魅力である自然環境のもとで行うイベントや、環境学習により集客を行っております。

それぞれにおいて、集客のコンセプトや対象者は異なるものと考えますが、イベント内容や広報を工夫することで、尼崎 21 世紀の森にも一定数の人の流れは作れるものと考えております。

IR事業の展開を注視する中で、広報戦略等を検討するとともに、引き続き環境学習など森の魅力を高める事業に、注力していきたいと考えております。

以上

質問要旨 マイ避難カードの作成について、令和9年度
100%の目標達成に向け、今後どう取り組むのか。

答弁要旨

「マイ避難カード」の普及率の目標達成に向けた取組につきましては、市報や市ホームページ等を通じた周知はもとより、啓発チラシを活用し、市政出前講座や地域の防災訓練等、機会を通じ説明を行い、作成をしていただくなど、令和4年度は、合計80回、延べ4,274名に対し、周知啓発を行ったところです。

さらには、令和5年3月にマイ避難カードを8分で作成できる支援動画を作り、市公式 YouTube や災害対策課公式 YouTube で公開する取り組みを進めております。

今後につきましても、さらなる避難行動の促進に向け、これまでの取組に加え、作成した支援動画を、市が実施するイベントや市政出前講座、市内事業者が実施する訓練などあらゆる機会を捉えて活用し、目標達成に繋げてまいります。

以上

質問要旨 学校に出向き、子ども向けの出前講座を開催することでマイ避難カードの作成促進と防災意識の向上が図られると考えるが、見解はどうか。

答弁要旨

学校での出前講座の開催につきましては、子どもの防災意識の向上や子どもから親世代への防災啓発に繋がる重要な取組であると考えております。

令和4年度では、子ども向けの出前講座を小学校で4回、児童ホームで3回、こどもクラブで2回実施するほか、子どもを参加対象とした防災イベントなど合計11回、子どもに対する周知啓発に取り組みました。

今後も引き続き、子ども向けの出前講座を学校などで実施するとともに、地域で実施されている子どもが参加するイベントに参画し、マイ避難カードの作成促進を行うほか、例えば、市内の小・中学校で行われる「1.17は忘れない」の取組期間などにおいて、先ほどご紹介させていただいた YouTube 動画を活用し、多くの児童・生徒にマイ避難カードの作成を呼びかけるなど、防災意識の向上に繋がる取組を進めてまいります。

以上